

四国電力

千葉昭殿

2011年8月8日

伊方原発反対八西連絡協議会  
八幡浜・原発から子どもたちを守る女の会  
原発さよなら四国ネットワーク  
MOX 反対伊方の会

**プルサーマル発電シンポジウムの『やらせ』に抗議し  
プルサーマル発電の中止と全ての伊方原発の廃炉を要求します。**

2006年6月24日に伊方町民会館で行われた国主催のプルサーマル計画をめぐるシンポジウムで、貴社が事前に準備した質問例文を29名に渡したり、口頭で伝えたりして、うち10名が当日「やらせ」質問をしていたことが、7月30日に新聞報道されました。

さらに、参加者587名のうち、貴社の社員が124名、関連会社が189名、合計313名、過半数を超える参加者を身内で固めていたことも、同時に報道されました。

このシンポジウムは、地域住民に対しプルサーマル発電計画を説明し、地域住民の是非を問うシンポジウムだったはずですが、そのシンポジウムで、貴社は、『やらせ』質問をさせ、過半数は身内で埋め尽くし、さらに、この不正なシンポジウムを持って、地域住民の理解を得たという虚構を作り、伊方原発3号炉において、プルサーマル発電を強行したのです。

この行為は、弁解の余地は全くなく、許されない行為であり、住民同意が取れていないプルサーマル発電は、即刻白紙に戻すべきです。

今回発覚した『やらせ』質問は氷山の一角で、貴社は、このような不正で卑劣な行為を数々を行い、地域住民の声を黙殺し、県民に対しては、地域住民の同意を得たと欺きながら、伊方原発を作り、稼働させているのです。

貴社は、住民の同意どころか、住民への理解さえも、虚構であった事実を深く認識し、自らが行った行為を真摯に反省し謝罪するべきです。

私たちは、今回発覚した『やらせ』質問に対し抗議し、プルサーマル発電及び全ての伊方原発を廃炉にすることを貴社に強く要求します。